

新着図書&DVDの紹介!

新しく加わった図書&DVDをご紹介します!

【図書】(書名/著者・編者名/出版社)

●健康ライブラリーイラスト版/講談社

- パニック障害 心の不安はとり除ける/渡辺登
- 非定型うつ病のことがよくわかる本/貝谷久宣
- PTSDとトラウマのすべてがわかる本/飛鳥井望
- OAD/HD・LDがある子どもを育てる本/月森久江
- 強迫性障害のすべてがわかる本/原田誠一
- アルツハイマー病のすべてがわかる本/新井平伊
- リストカット・自傷行為のことがよくわかる本/林直樹
- 境界性パーソナリティ障害のことがよくわかる本/牛島定信

- ことばの遅れのすべてがわかる本/中川信子
- 不登校・ひきこもりの心がわかる本/磯部潮
- 依存症のすべてがわかる本/渡辺登
- 統合失調症 正しい理解と治療法/伊藤準一郎
- 子どもの危ないひきつけ・けいれん/金沢治
- 拒食症と過食症/切池信夫
- 子どもの心の病気がわかる本/市川宏伸

【DVD】(題名/製造元/仕様)

- DVDで学ぶ みんなのうつ病講座/星和書店/181分
- 青年期、成人期の発達障害支援 全2巻/中島映像教材出版/35分・28分
- ACTは地域精神医療を変えるか/地域精神保健福祉機構/37分
- 本人・家族のための統合失調症講座/地域精神保健福祉機構/60分

※上記の図書・DVDは「野の花会 ひまわり会 浅野伸子」様からのご寄付により購入させていただきました。

【DVD】(題名/製造元/仕様)

●食べる喜びと健康 食と口腔を支援する高齢者のケア/東京シネ・ビデオ

- 第1巻 高齢者の食を考える/23分
- 第2巻 実践に見る口腔介護と摂食・嚥下リハビリテーション/23分

※上記のDVDは「NPO法人 楽」様よりご寄贈いただきました。



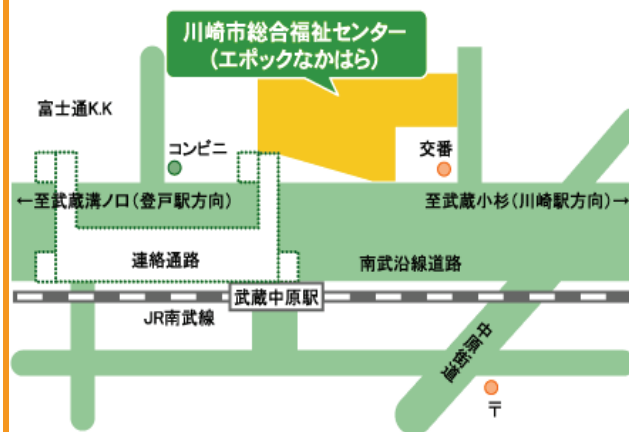
図書・ビデオ(DVD)の貸出しについて

- 《利用時間》 月～金曜日・第3土曜日 8時30分～17時(貸出業務は16時30分まで)
- 《貸出内容》 図書 3冊 2週間まで/ビデオ・DVD 3本 1週間まで

※初めて利用される方は、利用登録が必要となりますので、住所を確認できるもの(免許証・保険証など)をご持参ください。登録カードを発行いたします。2回目からの利用の際にカードの提示をお願いいたします。

ご案内図

川崎市中原区上小田中
6-22-5



JR武蔵中原駅の改札口を出て右へ進むと、連絡通路が川崎市総合福祉センター3階の入り口に通じています。

「地域福祉情報バンク通信」

発行月のお知らせ

3月・6月・9月・12月の発行です。
次号は12月1日発行予定です。

みなさまからのご意見・ご感想などを、ぜひお寄せください。今後の紙面に活かしたいと思っております。お待ちしております!
Email: jyoho@cs-w-kawasaki.or.jp
電話: 044-739-8720
FAX: 044-739-8739



こちらまで!

季刊発行ということで今号より、毎号季節のイメージカラーで発行することになりました。秋のイメージに合いましたでしょうか? また、次号は冬のイメージになりますが、あまり寒すぎる色にならないように気をつけたいと思っています。特集では、何か活動をしたいと思っている方にぜひ読んでいただきたい本を集めてみました。きっかけのひとつになればうれしいです。次号もどうぞご期待ください!!



川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター

地域福祉情報バンク通信

2009年 秋号

季刊

発行: 川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク
川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター6階
電話 044-739-8720 FAX 044-739-8739
※配布を希望される方は上記までご連絡ください。(登録制)

始めてみませんか? ボランティア!

ボランティア活動振興センターでは、「ボランティアを始めたいけど、何をしたらいいの?」「〇〇ボランティアに協力してもらいたい」など、ボランティアに関する様々な相談をお受けしています。

相談できる時間は?

月曜日～金曜日・第1土曜日(祝日・年末年始は除く)
8時30分～17時
※平日10時～16時(12時～13時は除く)は
ボランティアコーディネーターが在席しています。

どこにあるの?

川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)5階
川崎市中原区上小田中6-22-5(地図:最終ページ)
電話: 044-739-8718
FAX: 044-739-8739

遠くて行けない...

各区の社会福祉協議会にもボランティアセンターがあります。お気軽にご相談ください。
※各区(川崎区を除く)のホームページにて、ボランティア情報等を公開しています。

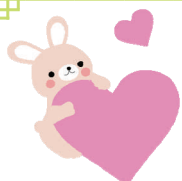
	住所/ホームページアドレス	電話番号
川崎区社会福祉協議会	川崎区砂子1-10-2 ソシオ砂子ビル9階	044-246-5500
幸区社会福祉協議会	幸区戸手本町1-11-5 さいわい健康福祉プラザ http://www.kawasaki-shakyo.jp/saiwai-volunteer/	044-556-5500
中原区社会福祉協議会	中原区今井上町34 和田ビル1階 http://www.kawasaki-shakyo.jp/nakahara-volunteer/	044-722-5500
高津区社会福祉協議会	高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 http://www.kawasaki-shakyo.jp/takatsu-volunteer/	044-812-5500
宮前区社会福祉協議会	宮前区宮崎2-6-10 東急宮崎台ガーデンオフィス4階 http://www.kawasaki-shakyo.jp/miyamae-volunteer/	044-856-5500
多摩区社会福祉協議会	多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2階 http://www.kawasaki-shakyo.jp/tama-volunteer/	044-935-5500
麻生区社会福祉協議会	麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル1階 http://www.kawasaki-shakyo.jp/asao-volunteer/	044-952-5500

ボランティア・市民活動を行っている各種団体が、無料で利用できるボランティア交流室がございます。(予約制・先着順)ぜひご利用ください!





「ボランティア」とは… と、難しく考える前に、まずご一読いただきたい本をご紹介します。
 (※下記の本は、地域福祉情報バンクで貸し出しが可能です)



恋するようにボランティアを

〔優しき挑戦者たち〕

大熊 由紀子 著／ぶどう社

「ボランティア」の日本語訳の中で、私がかっこよくも素敵だと思うのは、「ほっとかれへん」「がまんできへん」。ボランティアの「ボル」は、火山を意味するボルケイノと同じで、中から噴き出してきて、止めようとしても止められない思いを表わしているといわれます。(一部抜粋)

これからのボランティア

全国新聞連合シニアライフ協議会 編／講談社

文中に「今までボランティアというと特別なもののような気がしていたのですが、もっと日常的な生活の延長線上にあるものなんですね。」とあるように、ごく自然にボランティア活動を始められた方や、阪神・淡路大震災で被災された方々がボランティアとして活動したことなどが書かれていて、ボランティア活動の「きっかけ」に気付くことができる一冊です。

【目次】

- 序 論 ボランティア元年宣言
- 第一部 阪神・淡路大震災レポート
- 第二部 ハウツー・ボランティア

病院が変わる ボランティアが変える

渡邊 一雄 編著／はる書房

“東大病院にここボランティア”では、ボランティアとしてのマナーを、「にここ」ということばに託しています。ボランティアの存在が、どのようにして東大病院を変えていったのか、またボランティア・コーディネーターが果たした役割とは何か…。ボランティアの可能性と魅力を引き出すための、知恵と体験が満載されています。

【目次】

- 1部 東大病院を変えたボランティア・パワー
- 2部 コーディネーターからみたボランティアの世界
- 3部 あなたもできる病院・医療ボランティア
 全国11団体《取材編》

ボランティアを始めたいと思ったら…

『ボラ*ナビ 2009』

川崎市内でのボランティア・市民活動を紹介している冊子です。ボランティア活動振興センターをはじめ、かわさき市民活動センター各区分会、市内の関係機関にて配布しています。また、<http://www.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/sodan/navi.htm>よりダウンロードできます。



「防災の日」は、大正12年9月1日に発生した関東大震災を忘れることなく災害に備えようと、昭和35年に制定されました。川崎市では、9月1日(火)に八都府市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)合同防災訓練の中央会場として、大規模な訓練を予定しています。

(詳細は、<http://www.city.kawasaki.jp/16/16kiki/home/21kunren/21kunren-top.html>にてご覧いただけます) また、8月30日～9月5日は防災週間です。学校や職場、地域などで訓練が行われることと思いますが、ご家庭でもいま一度、防災について考え、備えなども確認してみてくださいはいかがでしょうか。

地域などで災害に備える取り組みの際に、参考にさせていただきたく下記の資料をご用意しました。ぜひ、ご一読ください!

● 障害のある人への災害支援 災害時の障害者援護に関する検討委員会報告書

／全国社会福祉協議会

阪神・淡路大震災における障害のある方々の状況を検証するとともに、今後の災害に備えることと、災害時における障害のある方々に対する支援のあり方を調査検討した報告書という形ですが、まずは自分の身を守ることに、そして普段からの地域の方達との関係作りなど、一般の方達にも参考にさせていただきたい内容です。

● 阪神・淡路大震災に学ぶ 学生のための防災・ボランティアハンドブック

／兵庫教育大学内 防災・ボランティアハンドブック作成委員会

まず自分自身の身のまわりの備え、そして地域の一員としてどのように自主防災組織の体制を整えればよいか、また実際に阪神・淡路大震災でボランティアとして活動した大学の学生寮の自治組織の記録などが、ハンドブックという限られた中で簡潔に書かれており、解りやすい内容になっています。



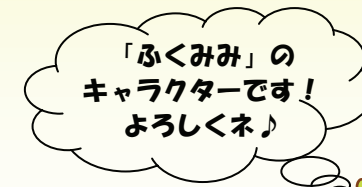
●●地域インフォメーション●●

■「ふくみみ」かわさき福祉情報サイトが、もうすぐ公開されます! ■

「この福祉サービスはどこに問い合わせたらいいのかしら」「福祉に関する本を読みたい」などの時、皆さまはどのようにして情報を得ていますか?

市民のみなさまがお探しの福祉に関する情報を、パソコンで探しやすい・わかりやすく・親しみやすく提供できるよう、「ふくみみ」かわさき福祉情報サイトを現在作成しております。

福祉に関する情報が満載の「ふくみみ」の詳細は次号にてお知らせする予定です。



「ふくみみ」のキャラクターです! よろしくネ!

「ふくみみ」かわさき福祉情報サイトは川崎市社会福祉協議会地域福祉情報バンクが運営いたします。